ふりがな　　まえはら　やすひろ

氏　名　　**前原　康宏**

1. 学歴

1974 年　3 月　一橋大学経済学部卒業

1978 年　9 月　London School of Economics 経済学部博士課程入学

1981 年　8 月　同課程修了，経済学博士号取得

2. 職歴･研究歴

1974 年　　4 月　　日本銀行入行

1987 年 － 1989 年　Brookings Institutions 客員研究員

1992 年 － 1995 年　日本銀行ﾜｼﾝﾄﾝ事務所長

1995 年 － 1996 年　日本銀行国際局総務課長

1996 年 － 1998 年　日本銀行鹿児島支店長

1998 年 － 2000 年　日本銀行政策委員会室審議役（国会渉外･政策広報担当）

2000 年 － 2003 年　日本銀行在ニューヨーク米州駐在参事

2003 年 － 2005 年　日本銀行企画室審議役（金融制度担当）

2005 年　　日本銀行金融研究所審議役

2005 年　　4 月　　一橋大学経済学研究科及び国際･公共政策大学院教授

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

（a）学部学生向け

Selected Topics in Economics (Issues in Financial System)

（b）大学院

Monetary Policy in Japan，Financial Sector Reform and Development，金融論

B. ゼミナール

国際･公共政策大学院アジア公共政策プログラム

C. 講義およびゼミナールの指導方針

講義においては，バブルの発生･崩壊，更にその後のデフレにおける金融政策運営，世界的な対外不均衡，サブプライムローン問題を発端とする世界的な金融危機と実体経済のスローダウン，ユーロ危機，新しい金融システム安定化の枠組み等をテーマとして，理論的な枠組みと刻々と変化する現実とそれに対する政策の相互関連といった視点を中心に説明する。ゼミナールにおいては，アジアの政策当局から派遣されている若手官僚が自国経済を理論面から分析し，そうした分析に基づき政策的評価を行い，政策運営能力を高めていく方向で指導している。講義及びゼミナールにおいて，金融･財政政策といったマクロ経済政策や金融システム改革に関連した具体的な事例を取り上げ，理論面や制度面から批判的な検討を加え，実践的な政策提言を行えるよう

な人材の育成を目指している。

4. 主な研究テーマ

(1)金融政策の運営と金融システムの安定との関係

金融政策の目標である物価の安定を達成するためには，金融システムの安定が不可欠であるという認識は政策当局者の間で共有されつつある。更に，金融システムの安定には資産価格の動向が大きな影響を与えている。そうした状況下では，金融政策の運営の中に資産価格をどの様に織り込んでいけば良いのかということは重要な政策的課題となってきており，そうした課題について研究している。

(2)金融政策におけるコミュニケーションと中央銀行の信認

中央銀行の信認を維持し金融政策の有効性を確保するうえで期待の果たす役割は大きくなってきている。中央銀行が金融政策を運営する際に，市場や一般国民にどの様なコミュニケーションを行っていくかということは期待の形成に大きな影響を与えている。信認を高めるような期待の形成のためのコミュニケーションのあり方，それを支えるような組織的な，あるいは政策的な枠組みについて研究している。

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著

The Duration of Jobs in the USA and Japan. Ph. D. Dissertation, London School of Economics, 1981.

(b) 論文(査読つき論文には*)

"The Internationalization of the Yen and Its Role as a Key Currency," *Journal of Asian Economics*, Vol. 4, No. 1, 1993, pp. 153-170.

"Japan's Stock Market: Lesson from the Recent Boom and Slump," *Journal of Asian Economics*, Vol. 6, No. 1, 1995, pp. 119-131.

"Financial Stability in Southeast Asia," *Journal of Asian Economics*, Vol. 9, No. 2, 1998, pp. 227-235.

"Japan's Economy: Issues and Prospects," *Institute for Corean-American Studies*, 2002.

(c) 翻訳

レイヤード＝ウォルターズ，『ミクロ経済学』，小平裕，細見真共訳，創文社，1982 年。

(d) その他

"Information Sharing in SME Financing," submitted to the ADBI Seminar on SME finance, 2006.

「マクロ・プルーデンスの視点」『金融危機下における金融規制・監督等のあり方』，金融調査研究会報告書(44)，2010 年 9 月，25-35 頁。

「中小企業金融における信用リスクデータベースの役割」，アジア中小企業信用補完制度実施機関連連合会議 25 周年記念論文に寄稿，2012 年 11 月。

6. 学内行政

(a) 役員・部局長・評議員等

役員補佐(国際交流)2008 年 12 月 － 2010 年 12 月

7. 学外活動

（d）その他

公共政策系専門職大学院認証委員会委員（2012 年 4 月 － 2014 年 3 月）

8. 官公庁各種審議会･委員会等における活動

「中小企業の審査とアジアにおけるCRD 中小企業データベースの構築による中小企業･成長セクターへの資金提供」に関する研究会（経済産業研究所主催，2011 年 8 月 － 現在）

9. 一般的言論活動

「アジアと協調し主導を」『日本経済新聞』経済教室， 大山剛氏と共同執筆，2009 年 3 月 31 日。

「利益の追求と「人として踏むべき道」」『銀行法務』21，No. 713， 2010 年 3 月号。

「日米欧が直面した「ギャップ」の時代～格差が埋まらないと，本物の危機がやってくる」，大阪証券取引所のコラム･インタビュー，2012 年 3 月 29 日。